

下村シェフを食分野初の観光大使に任命

1月22日、東京六本木の2つ星レストラン「Edition Koji Shimomura」のシェフ下村浩司氏の、国東市観光親善大使任命式が行われました。下村シェフは、「くにさきオイスター」をはじめ、国東の海山の産物や郷土料理に注目し、自店のフランス料理や食のイベント等で国東食材を提供しています。昨年4月には、都市圏のメディア関係者を招待したイベントで、国東食材のフルコースをご紹介していただきました。この功績と今後のアピールを願うため、食分野では初めてとなる観光大使に就任していただきました。

また、今回の来訪に際し、下村シェフの指導で市内のホテルや飲食店の料理人を対象とした料理講習と試食会を行いました。



宇佐国東半島 観光・地域振興 広域連携プロジェクトが始動

1月22日、「宇佐国東半島 観光・地域振興広域連携プロジェクト」の事業発表会が、大分県信用組合本店（大分市）で開催されました。

このプロジェクトは、県内外の関係事業者と自治体が連携し、宇佐国東半島地域にある世界に誇れる観光資源をアピールし、交流人口の増加に取り組んでいくものです。



新たな定期便が就航し 韓国がより身近に

12月22日、韓国の格安航空会社ティーウェイ航空の定期便就航記念式典が大分空港で行われました。同日からソウル（仁川）に加え、釜山と務安の2路線が新たに就航しました。

式典には、関係者ら約15名が出席し、テープカットをして祝福しました。式典後、釜山から到着した第1便の搭乗者に記念品を配りました。



オリンピック 事前キャンプ地 誘致に向けて

スーウォン 水原市（韓国）のウエイトリフティング代表（コーチ2名・選手10名）が、国内選考会に向けた基礎体力の向上を図るため、1月13日から13日間、韓国ウエイトリフティング連盟と連携した合宿を行いました。

国東市での合宿は、平成29年11月のナショナルチーム、平成30年12月の日韓ジュニア



代表に続き、今回で3回目となります。今後も、韓国をはじめ各国ウエイトリフティングチームと深い関わりを持ち、東京オリンピックの事前キャンプ地を目指していきます。